

横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達段階別訪問看護師チェック表【CDP2段階：一人立ち】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

能力	小項目	CDP2(訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる)	初回(月 日)			2回目(月 日)		
			未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
【精神】看護サービスマス実践能力	在宅看護過程	一人立ち						
		訪問できなくても電話などでも、対象者に肯定的なフィードバックや、意図的に気にかけていることなどを伝えることができる						
		対象者・家族に対し、適切な距離感を持つ必要性を理解する						
		対象者と家族や関係者に関心を示し続け、両者を尊重しつつ、看護職として寄り添い、伴走者としての思いでかかわることができる						
		関係性を保つことの難しさを知る						
		対象者に対する自身の感情を表現し、助言を得ながら適切な対処ができる						
		自身の実践を振り返り、意味づける						
		他者の助けを借りながら実践の課題を明確にし、次に活かせる						
		対象者・家族に関する情報からニーズをとらえることができる						
		対象者が主体的にできることが増やせるよう生活に密着した支援を考えることができる						
		対象者の状態変化について、原因・きっかけに基づいて整理し、対象者ができるセルフケアについて見出せるよう支援できる						
		対象者の身体疾患に対し、必要な療養上の支援を実践できる						
		精神面へのアプローチの一環として、身体疾患のケアの重要性を理解し、実践することができる						
		生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮した生活支援(栄養・保清・睡眠など)を行う						
		対象者とかかわりながら精神状態をアセスメントし、対象者と共に個別的で希望を支えられるような看護計画を作成し、それらに対象者・家族に説明できる						
	対象者のセルフケア不足について、疾病や生活への認識を確認しながら日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断できる							
	対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助ができる							
	頓服薬を対象者の個別性に合わせ、使用の妥当性をその都度アセスメントできる							
	精神面や身体面の状態が悪化した時の緊急訪問の要否について相談できる							
	緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して応援を呼び、自立して対応できる							
社会資源	ケアチームの中で連携を取り、円滑な関係を構築できる							
	非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)が対象者にとって効果的であるかを検討することができる							
	社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)に対し、対象者の支援について相談できる							
家族支援	対象者・家族各々の思いを率直に表出できるよう、意図的に一緒に過ごしたり別々に関わるなどの工夫ができる							
究教能力研	自己啓発・自己学習	人権、倫理、権利擁護について学ぶ						

横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達段階別訪問看護師チェック表【CDP 3段階：一人前】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

能力	小項目	CDP3(訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる) 一人前	初回(月 日)			2回目(月 日)		
			未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
〔精神〕 看護サービ ス実践能力	在宅看護過程	どのような状況にあろうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる						
		対象者・家族に対し、適切な距離を保って関わるができる						
		対象者と家族や関係者のできていることや、わずかな変化に気づくことができる						
		関係性を構築し、良好に維持することができる						
		対象者に対する自身の感情をコントロールし、適切な対処ができる						
		自身の強みや弱みを理解でき、それを看護に活かすことができる						
		実践の根拠や自身の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返ることができる						
		実践の根拠や自身の反応について振り返った結果を言語化して、他者と共有しながら、看護実践の向上につなげることができる						
		各々の関係性を理解したうえで、意図的に収集した情報を統合してニーズを把握することができる						
		対象者が主体的にできることを継続して実践できるよう、ケアの工夫や社会資源、既存制度の導入を検討することができる						
		対象者・家族の希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる						
		対象者自身が精神症状をセルフコントロールしながら、自分の力や課題、置かれている環境を意識して行動できるようかかわることができる						
		身体疾患の状況をアセスメントし、理解度や対処能力を考慮したうえで対象者と共にケアし、自立に向けた課題を明確にすることができる						
		精神・身体の両側面から今後起こる可能性のあることを予測して対処方法について実施できる						
		自立に向けた課題を明確にし、生活面での自立を図る						
		対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメントし、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなどの充実した看護を展開できる						
		セルフケア不足だけでなく健康的な力も見出したうえで、先を予測しながら見通しをもって今必要なケアを判断できる						
		対象者や家族や関係者の定時薬・頓服薬に対する思いを確認しながら、対象者が適切に薬物療法を受けられるよう支援できる						
	頓服薬の使用についてセルフケアできるよう支援できる							
	精神面や身体面の状態悪化時の緊急訪問の可否を判断できる							
緊急性のある事態が予測された際に、未然にそれを防げるよう対応、また、緊急事態には、他スタッフを指導しながら対応できる								
社会資源	ケアチームの中で対等な関係を構築し、目標に向かって協働できる							
	非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)を理解し、対象者にとって適切な方法を検討して対象者・家族に説明して導入することができる							
	社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)について、対象者の生活のサポートに必要な資源を紹介できる							
家族支援	対象者や家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標を立て、根気強く介入することができる							
教 育 力 研 究	自己啓発・ 自己学習	他事業所と交流し、様々な支援方法や知識を得る						
	自身の看護実践を事例としてまとめ、報告できる							

横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達段階別訪問看護師チェック表【CDP 4段階:中堅】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	CDP4(利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる)	未経験	自己評価	育成	未経験	自己評価	育成者
【精神】 看護サービス実践能力	在宅看護過程	対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者自身を理解し、自己決定ができるようにかかわることができる						
		いかなる状況であっても相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かわりを続けることができる						
		対象者との関係性を俯瞰的にみて、後輩指導に生かすことができる						
		実践のなかで起こる自己や他者の反応を客観的に捉えて意味づけ・言語化し、適切な看護につなげることができる						
		対象者が精神症状・能力に合わせた生活が送れるように、よき理解者としてかかわることができる						
		身体疾患に対するケアを、家族や関係者、多職種の協力を得て、対象者が実施できるよう支援ができる						
		対象者のセルフケア不足を補い、真のニーズを満たすことができるような環境整備ができる						
		必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるような環境づくりができる						
		不測の事態にも他スタッフを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる						
	社会資源	ケアチームと協働し、チーム全体の調和を図りながら課題解決できる						
必要な関係機関等と連絡を取り、日常・緊急時を問わず、連携した対応の体制が取れる								
家族支援	多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性を共に考えることができるように関わることができる							
教 能 育 力 研 究	自己啓発・ 自己学習	日々の実践から職場で研修・学習の機会を提供できる						
		先行研究に照らし自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表できる						

横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達段階別訪問看護師チェック表【CDP5段階:達人】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	CDP5(訪問看護の質向上に関わり、リーダーシップをとることができる)	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
		達人						
	在宅看護過程	対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、次の段階・支援につなぐことができる						
		感情コントロールが必要な場面で教育的な役割をとることができる						
		看護過程を自らがロールモデルとなり行動で示せる						
		対象者の健康的な力を生かし、セルフケアを継続できる地域社会の実現について考えることができる						
		緊急事態に対応する地域のネットワークを構築したり、連携・強化できる						
	社会資源	課題解決や協働のプロセスから、チームメンバーの役割を評価し、ケアチームの成功した実践を一般化し、共有できる						
		対象者と家族や関係者が安心して楽しく過ごすことができる居場所の提供を行う						
		関係機関が連携して行った対応について関係者へフィードバックを行い、今後の支援に生かすことができる						
	家族支援	中堅以下のスタッフに対し、対象者・家族へのかかわり方の相談やサポートができる						
	究教 能力研	自己啓 発・ 自己学習	これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流ができる					
後輩看護師の看護実践を研究としてまとめるプロセスの支援ができる								